



©佐藤寛敏

毎回早期売完！

## アジア人で初・ショパン国際コンクール優勝の巨匠ピアニスト ダン・タイ・ソン ピアノ・リサイタル

2024年6月28日(金) 午後7時開演(午後6時15分開場)

武蔵野市民文化会館 大ホール チケット発売中

料金(全席指定) | 一般：1万1000円 アルテ友の会：3500円

ダン・タイ・ソンの愛弟子にして、弱冠17歳でショパン国際コンクールに入賞を果たしたブイとの、日本で1回だけの2台ピアノは見逃せない！

[プログラム]

《第1部》2台ピアノ ダン・タイ・ソン with JJ・ジュン・リ・ブイ

シューベルト：『3つの軍隊行進曲』～第1番-アレグロ・ヴィヴァーチェ、  
二長調/シューベルト：ロンドイ長調 D 951 Op.107/ショパン：ムーアの  
民謡の主題による変奏曲 二長調 ほか

《第2部》ダン・タイ・ソン ソロ

ショパン：夜想曲第20番、第21番(遺作)/ショパン：マズルカ イ短調  
Op.17-4/ショパン：スケルツォ第2番 変ロ短調 Op.31 ほか



JJ・ジュン・リ・ブイ

台湾で絶大な人気を誇る室内楽アンサンブル

## シカーダ ~自然と癒しの音世界

(ピアノ、ヴァイオリン、チェロ、アコースティックギター)

2024年6月7日(金) 午後7時開演(午後6時30分開場)

武蔵野公会堂 チケット発売中

料金(全席指定) | 一般：2200円 アルテ友の会：2000円  
25歳以下：1200円



台湾のグラミー賞ともいわれる金曲獎にノミネート。2022年公開の映画『ある男』の音楽を務め、日本アカデミー賞優秀音楽賞を受賞！過去3回の来日や中国、ロシアでのツアー、台湾でも数多くのフェスティバルに出演する人気を誇っている。大自然と都市の呼応、あらゆる環境変化から影響を受けた音楽を紡ぎ出す、台湾発の室内楽アンサンブル。



武蔵野市民文化会館 〒180-0006 武蔵野市中町3-9-11

■チケットのお申し込み

TEL **0422-54-2011**

\*インターネットからも申し込みできます。

\*電話・窓口予約の場合、アルテ友の会に同時入会可能です(年会費1000円)。インターネット予約では同時入会できません。

■チケット取り扱い窓口

武蔵野市民文化会館/武蔵野芸能劇場/武蔵野公会堂/武蔵野スイングホール/吉祥寺シアター



ホームページ



X (旧 Twitter)



Facebook

\*出演者・内容はやむを得ず変更となることがあります。最新の公演情報については事業団のホームページをご覧ください。

\*武蔵野市民文化会館、吉祥寺美術館、吉祥寺シアターなど、市内の文化施設は(公財)武蔵野文化生涯学習事業団が管理・運営しています。

## 大坪美穂 黒いミルク ―北極光・この世界の不屈の詩―

2024年4月13日(土)～5月26日(日)

休館日：4月24日(水)

主催：武蔵野市立吉祥寺美術館〈(公財)武蔵野文化生涯学習事業団〉

おおつぼ みほ

大坪美穂は、人間存在を主題とするアーティストです。現代の問題を鋭敏に感受しながら、重厚な作品空間を創出しています。

最初期には絵画や身体表現に取り組んでいた大坪ですが、家族の死と誕生、自らの病、人間の尊厳を揺るがす出来事の見聞といった経験を通して、表現の手法を変化させていきました。近年では、自ら収集し染めた古布、ニューズペーパーと和紙による紙縫り、薄い鉛板などを素材に用いて制作しています。大坪の作品とは、あまねく必然としての創造であり、大坪自身の生の実証であるといえるでしょう。

大坪の作品を語る上で特筆すべきは、その素地にある「ことば」です。大坪の表現の源流には、彼女が豊富な読書経験や詩作などから捉えた、さまざまなことばが存在しています。わけでも、ドイツ系ユダヤ人の詩人パウル・ツェラン(1920-1970)、アイルランドの女性詩人ヌーラ・ニー・ゴーノル(1952-)の詩は、大坪の血肉になっているといっても過言ではありません。大坪がふたりの詩から受けとった深い感動は、大規模なインスタレーションとして発露しています。

本展のタイトルとして大坪が選んだことば——「黒いミルク」はツェランの詩\*1に依拠し、「北極光」「この世界の不屈の詩」はニー・ゴーノルの詩\*2から引いています。いうなれば闇と光とが並立するタイトルですが、ここには、割り切れぬ人間のありようと、それを直視しつつ希望を見失わない大坪の力強さが示されています。

このたび満を持して吉祥寺で構成されるインスタレーションは、大坪の仕事の集大成であると同時に、皆さんと共に踏み出す、生への新たな一歩となるに違いありません。



《黒いミルク》2008年

©Kei Uesugi



《SILENT VOICE》2008年

©Kei Uesugi



《ブネウマ》2013-2018年

©Masataka Nagano

\*1 「死のフーガ」

\*2 Nuala Ni Dhomhnaill translated by Peter Fallon from *Northern Lights* (2018) is reproduced by kind permission of The Gallery Press.  
www.gallerypress.com \*日本語は大野光子氏訳による



### 武蔵野市立吉祥寺美術館

**開館時間** 午前10時～午後7時30分

**休館日** 毎月最終水曜日(祝日の場合は翌日)  
年末年始、展示替えおよび特別整理期間

**入館料** 一般300円/中高生100円  
(小学生以下・65歳以上・障害者は無料)

**交通案内** JR・京王井の頭線「吉祥寺駅」下車 北口より徒歩3分



ホームページ



X(旧 Twitter)



Facebook

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-8-16  
コピス吉祥寺A館7階  
TEL：0422-22-0385